

昔、松島周辺の柔らかい火山岩は近くの海によって浸食され、洞窟が造られた。これらの洞窟は、仏教徒が亡くなった親族を供養するために墓碑を彫る人気の場所となった。目に見える最古の洞窟は 17 世紀のものであるが、12 世紀や 13 世紀にまでさかのぼる洞窟の痕跡が、現在は土に覆われている岩石の下層で発見されている。

過去には小さな独立した寺が、瑞巖寺に通じる参道の左右に 6 か寺ずつ建っていた。ささやかな寄付をするために、訪問者は寺の裏の洞窟に入り、彫刻や供養のための石を記念に残すことができる。